

## 基本研修

### ○教養課程

#### 「補綴製作に必要な色彩理論と生理的特性」

従来、単に“錯視”といえ、**“形の錯視、幾何学的錯視”**のことを指し、真っ直ぐの線が傾いたり、同じ大きさのモノが小さく(大きく)見えたりといった錯視は、古くから人々を魅了してきた。その錯視の研究は約 150 年という長い歴史があり、またここ 10 数年ほど、PC の普及に伴い次々と新しい錯視図形が発表され錯視研究は盛り上がりを見せている。

審美修復補綴物製作に必要な色彩理論をセラミックス製作に必要不可欠なステイン材料を例とし、相対屈折率、蛍光性、錯視減少の様々な視覚特性や生理的現象を紹介しながら、歯科技工への応用と提案をしたい。

### ○専門課程

#### 「CAD/CAM の展望と各種マテリアルの特性」

CAD/CAM 関連マテリアルの特徴を、製作ステップを踏まえてご紹介し、技工作業に必要な各種マテリアル同士の接着メカニズムと方法、最近需要が増えつつある、インプラント、デンチャーの GUM カラーリングと、そのために必要なフレーム構造とデザイン、CAD/CAM マテリアルも合わせて紹介させていただきます。